

# 市議会だより



花の木保育所



秩父市イメージキャラクター  
ポテくん

## 9月定例会

- 議員定数条例一部改正が議員提出により可決  
定数22人から19人へ(次期選挙より)
- 決算審査特別委員会の設置

ヘルメットをかぶり  
かっこよくランニングバイクに  
乗ることができたよ。  
将来は、プロのBMXライダー？  
みんなで楽しく交通ルールも  
教えてもらったね！！

# 9月定例会の議案質疑等の内容

9月定例会（9月4日から26日まで開催）では、市長提出議案26件のほか、議員提出議案2件、請願3件を審議しました。質疑、討論の主な内容は下記のとおりです。

## 一般会計決算

### 歳入

**問** 秩父まつり会館入館料が、29年度決算比+952万円（対予算比+205万円）であるが、内訳と評価は。

**答** 29年7月より入館料を引き上げた事と、リニューアルに伴い入館者が増えたことによる。今後もPR活動を行い入館者増を目指す。

**問** ふるさと納税寄附金について、過度な返礼品をやめるよう国からの指導もあるが市の状況は。

**答** 返礼率の高い物で35%程度であったものを30%に引き下げている。また、地域経済活性化に資する観点から市内事業者が生産している物に限定している。また、姉妹都市の施設利用券も地場産品と同様と考えて返礼品としている。

### 歳出

**問** 通学定期購入補助金482万3260円の内訳は。  
**答** バス通学定期券への補助金額が266万2580円、申請件数は571件。鉄道通学定期券への補助金額が216万680円、申請件数は361件。

**問** ウッドスタート業務委託料の内容は。

**答** 秩父産木材を使用し、秩父の木工職人が製作する木のおもちゃを赤ちゃんへプレゼントする誕生祝い品事業を27年度より取り組んでいる。特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会へ委託したもの。

**問** 生活保護世帯数と相談件数、認定件数は。

**答** 29年度の生活保護世帯数は549世帯、相談件数は139件、認定件数は60件。

**問** ケースワーカーの負担解消についての検討と、窓口での対応は。

**答** 29年度と30年度に人員増となり、28年4月では1人あたり92世帯であったのが30年4月では1人78世帯と軽減することができ、国の標準数である80世帯をクリアすることができた。また、窓口での対応は相談支援員を配置し窓口や電話で初期の対応を行い生活保護を必要とする場合はケースワーカーへ繋ぐ対応を行っている。



誕生祝い品

**問** 天ぶら油の再生事業の成果と課題は。

**答** 29年度の天ぶら油回収量は約1万7千リットルでBDF製造量は5千リットル。課題はBDFの使用先が年々減り続けていること。引き続き天ぶら油の回収を行うこととし、BDFを製造するのではなく、そのまま使用できる方法について検討をしている。

## 用語解説

**【BDF（バイオディーゼルフューエル）】**

菜種油や廃食用油などから製造される、ディーゼルエンジン用の燃料。

## 国民健康保険特別会計

**問** 人間ドック検診費補助金について、男女別・年代別の利用状況は。

**答** 補助を受けた方は男性656人、女性568人、総数1224人。年代別では35歳から40歳が10人、41歳から50歳が63人、51歳から60歳が124人、61歳から70歳が73人、71歳以上が254人。

## 介護保険特別会計

**問** 地域サロンの活動状況は。  
**答** 30年8月末時点で、秩父地域23団体、吉田地域7団体、荒川地域4団体、総参加者数が約760人。

## 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

**問** 将来にわたり継続的に秩父新電力株式会社へ市の職員を派遣する考えか。

**答** 条例改正案可決後に様々な取り決めをしていく。その中に職員派遣に関する具体的な内容も含まれる。株式会社への職員派遣は法律上3年間が限度となっている。最終的には市の職員派遣がなくても目的を果たせるようにすべきと考えている。



の様子（本庁舎4階）



一般会計補正予算(第2回)

問 下郷児童館の改修内容は、宮地児童館の機能の移転のために、浴室の解体、幼児用トイレ、子育て支援相談室、図書館、園庭と遊具、車両進入口の設置、防火水槽の修繕などを行う。



下郷児童館

問 財政調整基金と公共施設整備基金にそれぞれ9億円、1億円を積立しているが、その背景にある考え方は。

答 29年度の決算における一般会計の実質収支が約18億円であった。地方財政法では剰余金の2分の1を下らない金額を繰上償還に充てるか積立をすることとされている。財政調整基金は30年度に10億円を取り崩したので、額を回復するために9億円を積立、公共施設整備基金は30年度に2億円弱を取り崩したので、財源を留保するために1億円を積み立てた。

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

討論

反対

今回の改正は、県が行う重度心身障害者医療費助成制度に所得制限が設けられたため、市でも同様に360万4千円以上の所得がある対象者には助成を行わないとするものである。

県がこの所得制限の実施に踏み切るのが31年1月1日からであり、北本市のように所得制限を導入しない自治体もある。重度心身障害者の医療の抑制や治療の中断を避けるという福祉的・人道的視点で見れば、市の単独事業として支給継続を行った場合の費用の検討は行っていかざるべきである。

また、議案提案に至る手続の過程で、障がい者団体等市民の声の聴取および説明が不十分であること等から反対する。

受動喫煙防止対策に関する請願

討論

賛成

受動喫煙防止に関して、条例化による一律的、強制的な規制ではなく、事業者の自主的な取組みによる受動喫煙防止対策を行いたい旨がうたわれている。

一部自治体においては条例が成立したが一律的、強制的な内容に賛否が問われている。様々な業界団体は、受動喫煙を防止することに異論を唱えるものではなく、東京オリピック・パラリンピックを控え受動喫煙防止に関して喫煙環境の見える化や、分煙等の対策を率先して行ってきた経緯がある。

事業者に対し一律的、強制的な規制をかけずとも、受動喫煙を防止することは可能であるとともに、喫煙者、非喫煙者に、飲食施設等の禁煙、喫煙を自由に選択させることも可能であるため賛成する。



9月定例会本会議

消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願

討論

賛成

保護者・事業者や施設管理者等の役割として受動喫煙防止についての努力義務を課している。

受動喫煙防止を確実に進めていくことは、自治体による条例での一定の規制無しには出来得ない、と考えていることから、受動喫煙防止対策を事業者の自主性に任せるとするこの請願に反対する。

住民の暮らし、地域経済、地方自治体が元気になり、豊かさを実感できる日本を実現するために、景気の好転を呼び起こす必要がある。

さらなる増税が実行されれば消費を抑制する行動が生まれ、企業の生産量の減少が起これ、不景気のスパイラルの発動が懸念される。

日本が成熟した福祉国家へと成長をしていくために、将

反対

政府は消費税率10%引き上げに当たり、家計への負担を軽減し、景気を失速させないよう万全の対策を講じると明示している。

柱となるのは軽減税率の導入であり、酒類や外食を除く飲食料品全般等は8%のまま据え置かれる。中小企業は軽減税率への対応支援として軽減税率対策補助金を支給する。増収分は社会保障費の充実に充てる方針を示している。

以上のように政府は消費税率引き上げに向かって動き出していることから反対する。

# 議員定数の3人減を決定

次回の市議会議員選挙から秩父市議会議員の定数が22人から19人になります。

## 討論

秩父市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を賛成多数により可決しました。

## 賛成

議会は自治体の予算により運営されていることを顧みれば、自治体の財政予測と切り離して考えることはできない。議会改革特別委員会での検討を通じて、常任委員会の構成人数について、「最低でも6人の委員で構成されること望ましい」という考えが基準として共有され、その基準から3つの各常任委員会に6人ずつの委員を配置する人数に議長を加えた19人の議員数が、現状において相応しいという意見に集約されたことに、大きな意義があったと考える。合議体としての議会の中で主要な役割を果たす常任委員会の審議のために必要な人数から議会の構成人数を導き出したことは、市議会での審議の質と多様な意見の表出の機会を一定確保することに重きをおいた結果といえるだろう。将来の時勢の変化に応じて、議員定数について再検討が必要となる場合には、今回の議員定数を定めるものとなった「常任委員会の6人体制」の基準を踏まえて、複数委員会

への所属なども含めた常任委員会の運営方法、常任委員会の再編成、委員会審議のあり方といった内容についての検討が必要と考える。

将来まで通用する秩父市議会のあるべき姿として「健全な委員会運営を実現していくこと」を中心に据えた基礎となる考え方を創ることができたことの意義を重く受け止め、特別委員会での一連の検討とその結果としての議員定数の変更賛成する。

## 反対

議会の大きな役割である「行政あるいは市長のチェック」という機能を弱め、結果として市民の利益を損なうことになる。議員定数は、単に人口比に重きを置くのではなく、市固有の様々な事情や条件を勘案する中で、何人の定数が最善なのかを十分に精査した上で、自らの定数を定めなければならない。

また、本提案に至る手続は余りにも拙速である。3月議会では議員定数を22人から20人へと削減するという提案であったが、本議案はさらにこれから1人を削減して19人にするという提案になっており、わずか半年余りの中で何故削減人数が1人増えたのか、その根拠も明確ではないことから反対する。

## 決算審査特別委員会の設置

本委員会は、9月定例会に提出された29年度の各会計決算の議案を審査するための特別委員会です。秩父市議会では、2年に一度、決算審査特別委員会を設置し、閉会中に議案審査を行っています。

### 〈所属議員〉

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 松澤 一雄 |
| 副委員長 | 大久保 進 |
| 委員   | 清野 和彦 |
|      | 江田 徹  |
|      | 土谷 眞一 |
|      | 上林 富夫 |
|      | 桜井 均  |
|      | 堀口 義正 |
|      | 笠原 宏平 |



現地調査の様子  
(場所は旧セメント跡地)

## 意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書1件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

### 生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書

1 ミツバチの大量死に関して、原因究明のための徹底した調査及びネオニコチノイド系農薬による影響に関する調査を更に行うこと。

2 ネオニコチノイド系農薬の生態系やヒトの健康に与える影響についての調査を行うこと。

3 ネオニコチノイド系農薬の規制及び食品への残留農薬基準を見直し、強化を進めること。





# 常任委員会の報告

## 総務委員会

9月定例会で付託された議案3件および請願2件について報告する。

◆**公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正**

◆**地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例**

問 対象となる企業はどのように決定するのか。

答 国の基本方針に基づき、市と県が基本計画を策定し、国の承認を得る。この基本計画をもとに地元企業が地域経済牽引事業を策定し、県知事の承認が得られると、支援が受けられるという仕組みである。

◆**一般会計補正予算(第2回)**

問 システム改修委託料、元号改正対応について、元号でなく西暦でも可能ということ聞いたが市の対応は。

答 年号の表記は、国や県でも文書は元号表記が基本で、市でも、市民、職員に浸透しているもので、原則として元号を使用することを市内で意思統一をした。市民の方が西暦で申請した場合は、西暦で受理する。また、免許証等は、有効期限は西暦を使用することなのでケース・バイ・ケースで西暦を使用することを考えている。  
○以上3件は原案のとおり可決

◆**消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願**

意見 消費税を10%に上げるということは、商売、営業の方は大変である。この問題は、日々の生活を送っている人に10%は非常に重い負担である。

意見 生産年齢人口の減少、高齢化に伴って年金や医療介護などの費用が大きく増加し、これ以上将来負担を若者に押し付けるわけにはいかない。社会保障制度を安定させていくためにも新しい税源が必要である。

◆**東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願**

意見 東海第二原子力発電所は、色々な事故が起きて、老朽化もしている。東海第二原子力発電所の運転差し止め、廃炉しかないということとを多くの人が望んでいる。

意見 石油資源を持たない日本におけるエネルギー政策は、世界的に見ても厳しい水準である。規則、基準、審査、福島原発の後には新基準になっていて、これを通して原子力発電所は再稼働をやむなしと考える。

○以上2件は挙手少数により不採択



## まちづくり委員会

9月定例会に付託された議案7件について報告する。

◆**下水道事業の設置等に関する条例**

例 公営企業会計移行に係る国からの財源措置は。

答 27年度から31年度までの集中取組み期間に移行する場合には、公営企業会計の適用に直接必要な経費に関し、公営企業債の対象として充当率が100%となり、元利償還金に対しても、下水道事業債に準じた普通交付税措置がある。

◆**一般会計補正予算(第2回)**  
問 し尿処理広域化検討事業(定住)の広域化に関する基礎調査業務委託料600万円に関し、広域化に向けた今後のスケジュールは。

答 議会での可決後、早急に業者委託を行い、検討資料等の作成を進めるとともに、県内の先進施設等の視察研修を行う予定。広域化に関する検討会は、30年6月から現在まで2回開催しているが、今後は、1市4町の財政面等を勘案し、広域化や事務委託等、どの方法が最適なのか、し尿残渣のエネルギー化を含め検討を進めていく。

問 (仮称)秩父ビジネスプラザ事業に関し、建物利用の計画は。

答 1階は、創業資金が少ないであろう若い人を想定した飲食店の

チャレンジショップとする。市がある程度の設備を準備して、初期投資を抑えた形で入居していただき、1年あるいは2年で、技術の習得や顧客を掴んでいただいたのち、市内で独立していただくことを想定している。2階、3階は、時間貸し、週貸し、月貸しといった自由な形態で利用いただくコワーキングスペース、あるいはサテライトオフィスとし、若い人たちによる横の交流や新しい仕事を創造する集いの場としていく。

問 道路用地等取得事業の市道中央632号線に係る用地買収費3千万円に関し、当該用地の道路幅員は。

答 国道140号側からの進入路については、道路幅員10メートル、うち片側歩道3メートルを予定し、大型トラック等も通行可能である。

◆**下水道事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)**

◆**公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)**

◆**駐車場事業特別会計補正予算(第1回)**

○以上7件は原案のとおり可決

# 常任委員会の報告

## 文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案8件および請願1件について報告する。

### ◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

**問** 救急医療等の業務に従事する医師以外の職員の手当についての検討は。

**答** 看護師をはじめとした各職員は通常の勤務時間の中で夜間業務をこなし、また、夜間医療等業務手当が支給されていることから今回は改正しないが、検討は行っている。

### ◆患者一人について、特殊勤務手当が5千円支給されるのか。

**答** 救急外来診療に引き続き入院となった場合、一人につき5千円の手当が支給される。

### ◆重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

**意見** 所得制限を行うことは家計への影響もあり、県内のいくつかの市町村で所得制限を導入するかは未定であることから改正は拙速である。

### ◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正

○挙手多数により可決  
○原案のとおり可決

### ◆市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の一部改正

**意見** 子育て支援に逆行するものであり、激変緩和措置を継続すべきであるため反対する。

### ◆一般会計補正予算(第2回)

### ◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

### ◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

### ◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

### ◆秩父市における受動喫煙防止対策に関する請願

**意見** 受動喫煙の健康への影響は明白であり、一定の条例によって責務を課すことは必要と考える。

**意見** 国民の健康を守るためにも、オリンピック・パラリンピックの開催国としても、国際的責任を果たすうえで、受動喫煙対策の抜本的強化は急務である。

○挙手多数により採択



## 議会改革特別委員会

### ◆6月6日、20日委員会開催

今後の協議項目および進め方について協議を行い、最優先項目を「議員報酬」「議員定数」とした。

**意見** 議員報酬については、委員会で議論すべきものなのか疑問である。

**結果** 委員会では調査をすることだけとした。

**意見** 議員定数については、そんなに急いでやる必要はなく、じっくりやるべき。

**意見** 議員定数については、過去から議論していた過程もあり、すでに議論はしている。

**結果** 引き続き協議をすることとした。

### ◆7月2日委員会開催

**意見** 市民・社会の非難をかわすために定数削減をするのは問題、中身が必要である。

**意見** 多くの市民が人数が多いと言っているのも事実であり、少数精鋭で行くべき。

**意見** 定数削減はきりが無い。秩父は面積が広く、意見・願いが反映できるかが大事。

**意見** 広さだけ、人口減だけでも決められない。常任委員会を6人にして実績もあり、削減しても問題なし。

**意見** なるべく様々な、多くの意見が必要。定数には根拠が必要で、そうでないと市民に説明が難しい。

**結果** 「減らしたほうが良い」「現状維持」との2つの意見に集約され、次の会議で、根拠をもとに意見集約することとした。

### ◆8月6日委員会開催

**意見** 委員会が維持できる6人×3委員会で18人。インパクトのある削減を。

**意見** 18人は行き過ぎだ。現状維持がいいが、減らすのであれば20人。

**意見** 委員会構成を1委員会6人、多数決でしっかりした形にできる。6人×3委員会で18人と議長で19人。

**意見** 人口減少、税収減からも6人×3委員会、議長で19人が適当。

**意見** 1委員会6人と議長の19人がふさわしい。現状から3人減となるが、事務局機能のアップと、ICTタブレット端末等の導入を図っていく。

**結果** 現状の定数22人から「20人」「19人」「18人」と3つの具体的な案が出て、賛成多数で19人と決した。議員提出議案として、次期一般選挙から議員定数を19人とする議案を賛成多数で9月定例会に提出することに決した。



## 9月定例会で審議した議案の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 4人	共産 3人	公明 2人	無会派 金崎 1人
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	×
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○
下水道事業の設置等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
一般会計補正予算（第2回）	原案可決	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 4人	共産 3人	公明 2人	無会派 金崎 1人
一般会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
市立病院事業会計決算の認定	継続審査	-	-	-	-	-
議員提出議案						
生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議会の議員の定数を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	×
請願						
秩父市における受動喫煙防止対策に関する請願	採択	○	○	×	○	×
消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	○	×	○
東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願	不採択	×	×	○	×	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団  
 公明：公明党 無会派：会派に属さない議員  
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

## 一般質問

### 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 上林 富夫(サンライズ秩父)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>危機管理体制</li> <li>市の障がい者雇用の実績</li> <li>企業誘致の現状</li> <li>市民生活の現状</li> </ol>	<p>⑤ 本橋 貢(公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域猫活動・野良猫を減らすために</li> <li>障がい者雇用制度</li> <li>聖地公園の清掃・管理</li> </ol>	<p>⑨ 黒澤 秀之(清流クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防災（減災）政策</li> <li>防犯政策</li> <li>荒川流域の交流事業を通じた地域活性化</li> </ol>
<p>② 堀口 義正(清流クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>秩父市「公共施設等総合管理計画」</li> <li>秩父市「避難行動要支援者支援制度」</li> <li>市道原谷69号線・幹線61号線工事計画</li> </ol>	<p>⑥ 出浦 章恵(日本共産党秩父市議団)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害対策 ハザードマップ作製を</li> <li>カワウ対策に伴う近隣住民への安全対策</li> <li>オスプレイ飛行に対する市の考えは</li> </ol>	<p>⑩ 大久保 進(公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>公共施設や通学路のブロック塀安全確保</li> <li>認知症の人を対象にした損害賠償保険</li> </ol>
<p>③ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市民満足度調査の休止と市民参画のまちづくり</li> <li>まちなか巡回バスの運行</li> <li>秩父市の防災体制と自助・共助・公助のあり方</li> </ol>	<p>⑦ 江田 徹(清流クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>秩父ジオグラビティパーク構想</li> <li>雇用の拡大</li> <li>荒川上田野地内の産業廃棄物</li> <li>各種申請書等の押印</li> </ol>	<p>⑪ 赤岩 秀文(清流クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光客の交通安全対策</li> <li>子どもの安心安全</li> <li>公衆トイレ（観光トイレ）の今後</li> </ol>
<p>④ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>枠配分予算編成</li> <li>歴史まちづくり法</li> <li>星の子教室</li> <li>市役所・市民会館・歴史館の駐車場</li> </ol>	<p>⑧ 桜井 均(日本共産党秩父市議団)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>災害対応（避難所の開設・防災倉庫）</li> <li>住宅リフォーム制度の活用</li> <li>福祉女性会館の将来</li> <li>子育て支援（インフルエンザ接種助成）</li> </ol>	<p>⑫ 山中 進(日本共産党秩父市議団)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国保制度</li> <li>子どもの貧困対策</li> <li>大滝地域の振興</li> </ol>

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。



# 一般質問

## セメント跡地の整備 企業誘致の現状



サンライズ秩父 上林 富夫  
かみばやし とみお

**問** 数億円必要と思われる整備完了はいつごろか。

**答** 30年度、道の駅ちちぶ入り口から腰田堀を渡り299号までの中央632号線関連の改築工事を実施。31年度に299号からの入り口付近に信号設置や右折レーンなどの工事を予定している。140号陸橋平面化は、県によると30年度に概略設計を行い31年度に詳細設計に進みたいが工事着手は未定とのことである。

**問** 企業訪問等はどのようにしているか。優遇策提示はしているか。

**答** 訪問基準は立地意向調査に回答があった企業や県に寄せられる情報等をもとに年に数社訪問し市の優遇策等の説明をしている。

**問** セメント跡地の有害物質状況は現在どうなっているか。

**答** 土壌汚染対策法による調査を実施。一部の土地で基準を超えるヒ素およびその化合物、フッ素およびその化合物、六価クロムが検出された。30年9月4日土壌汚染対策法により県が一部を汚染区域に指定。今後、必要な措置を行う。

## ●市民生活の現状

**問** 市民の所得状況および臨時福祉給付金対象者数は。

**答** 29年度課税状況調査に基づく総人数2万7188人の内訳は100万円以下1万1727人、100万円～200万円8264人、200万円～300万円3755人、300万円～400万円1733人、400万円～500万円1053人、500万円以上656人。臨時福祉給付金対象者1万2279人の内訳は60歳以下4507人、61歳以上7772人である。



旧セメント跡地



## 秩父市公共施設等総合管理計画 FMの取組みと今後の展開



清流クラブ 堀口 義正  
ほりぐち よしまさ

**問** 市のファシリテイマネジメントへの取組み実施時期はいつか。

**答** 23年度総務省の「市町村が有する公共施設及びインフラ資産の将来更新費用の比較分析」調査が行われた結果を経て、24年1月にファシリテイマネジメント方針および基本計画策定時である。

**問** 今までの主な実績と成果は。

**答** 高篠・原谷保育所の廃止では、人件費や借地料等の維持管理費のコストを将来にわたり削減、土地の有効活用では、原谷保育所跡地に公民館・温水プール等利用者の駐車スペース34台を確保した。旧大滝中学校の小さな拠点事業は維持費の集中管理や台風の際の避難所開設等、施設利用者の利便性の向上が図れた。花の木住宅解体後の秩父版CCRCの効果予想は、サービス付き高齢者向け住宅の敷地を民間に賃貸し、歳入の増加や地域経済の活性化等を見込む。

**問** 公共施設の維持管理費の現状と市保有公共施設の老朽化対策は。

**答** 借地料は年間約1億9千万円。主な公共施設の維持管理費や利用状況等の施設情報を、HP等でお知らせしたい。施設保有量は29年

度末現在1332棟。老朽化対策は、建替えや改修が有効手段だが、全施設実施は困難。将来的に存続する施設を限定し、建物は廃止・機能を別の建物に移転統合、または複合化で施設の利活用と総量削減を推進したい。予防保全で施設の長寿命化を進めたい。

**問** FMの今後の展開は。

**答** 個別計画を具体的に検討、管理計画を基にコストを意識した公共施設の改善、改革に取り組み、数や規模に応じ、安心で安全に利用できる公共施設維持を考えたい。



大滝総合支所  
避難所



原谷保育所跡地駐車場



# 一般質問

## 市民満足度調査の再開は



かなざき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 市民満足度調査の中止には、驚きと残念との市民の声が寄せられている。調査の実施は、市民参画のまちづくりに欠かせないものと考えますが、再開の考えは。

**答** 毎年度の調査は一旦休止するが、32年度には新たな総合計画を立てるので、その前には今まで以上に充実させた市民意識調査を実施したい。

### ● まちなか巡回バスの運行を

**問** 中心市街地でも「バスが無く、買い物等の日常生活に不自由している人が多い」という声を聞く。循環バスについて、2年半前の質問に「検討したい」との答弁がされているが、その検討結果は。

**答** 市や定住自立圏、県を交えた会議等で検討してきたが、「バス路線の新設には相当費用がかかるので、それに見合った効果も十分に検討する必要がある」との意見があり、引き続き慎重に検討。

### ● 自助・公助・共助のあり方

**問** 200人を超える尊い命が失われた西日本豪雨災害では、亡くなられた方の7割が60歳以上の



自助・共助・公助の考え方

「災害弱者」であった。当市においても高齢化が著しく進んでおり、今やほぼ3人に1人が65歳以上の高齢者という実態。こうした状況の下では、防災の基本といわれる自助・共助・公助のあり方も、地域の実態に則した、より効果的なものへと見直すことが必要では。

**答** 「公助」に限界がある中、自分の身は自分で守る「自助」、地域での助け合いの「共助」が欠かせない。高齢化の進行に伴い、「共助」の割合は高くなる。

## 歴史・伝統を感じられる市街地の整備



きよの かずひこ  
清野 和彦

**問** 年間を通じて風情を感じられる街並み形成のために、歴史まちづくり法に則った歴史的風致維持向上計画の策定をすべきでは。

**答** 教育委員会では30年度から3か年で歴史文化基本構想を策定。市内の指定・未指定の文化財を把握し、周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するための指針となる。また地域整備部では同時期に都市計画マスタープランを改定。市の将来都市像の実現に向けた指針となる。基本構想及びマスタープランを策定する中で歴史的風致維持向上計画は包括されるのではないかと考える。

### ● 児童発達支援事業・星の子教室

**問** 32年度から民間委託する計画の詳細は。また人材や施設について、これからも安心して利用していただくための配慮は。

**答** 耐震化等の問題から施設の建て替えを検討し、民営化することとなり、プロポーザル方式での選定の結果、秩父市社会福祉事業団が事業者となった。国・県の補助金を活用し、寺尾に高齢者デイサー

ビス、障がい者生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス事業を併設する多機能型福祉施設を建設する予定。星の子教室のスタッフからのヒアリングや県内の最新施設への視察の上で施設の設計等に取り組んでいる。現在の星の子教室のスタッフについては希望があれば勤務条件等の相談は必要だが新たな施設を案内できる方向で調整したい。



秩父の発展を支える街並みを

◎30年度予算編成から導入された  
枠配分予算編成  
◎市役所・秩父宮記念市民会館・  
歴史文化伝承館の駐車場

# 一般質問

## 地域猫活動

**問** 野良猫を減らすために補助金制度の利用実績と取組みは。

**答** 野良猫対策補助金制度の利用実績は、26年度に創設してからの4年間で延べ140件102万円を交付した。県の補助金制度のモデル地区として認定を受けた番場町地域はボランティアと地域住民が協力し、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し繁殖を抑制し、餌やりのルール化等の適切な管理をする地域猫活動を行い、3年間で25匹の猫に不妊・去勢手術を受けさせた。公衆衛生の向上と動物愛護精神からも、当補助金制度は今後も必要な制度である。

## 障がい者雇用制度

**問** 障がい者雇用制度における市内民間企業の雇用達成率は。

**答** 秩父郡市内の法定雇用率制度に該当する企業における法定雇用率達成状況は70・5%で、埼玉県全体の49・4%を大きく上回り県内で一番高い達成率である。

## 聖地公園の清掃・管理

**問** 聖地公園のゴミ箱・水場の改修は。



公明党 本橋 貢  
ちとほし みつぎ

**答** カラスが集団でゴミ箱を倒して餌をあさるのでゴミ箱の試作品ができる予定。利用者に不都合がないよう予算の範囲内で改善する。水場は43か所ある。経年劣化が進んでいる水場は年次計画で新しい水場を整備できるように検討する。水場のおけ置き場は、2年前より木製から金属製のものに順次取り替えてきた。予算の確保に努め継続して取り組む。



聖地公園の水場

## 原谷地域住民の

## 安全対策は

日本共産党秩父市議団

出浦 章恵  
しゅんぽん あきえ



**問** 8月19日のカワウ対策は。

**答** 秩父漁業組合がカワウによる深刻な被害を受けている。荒川右岸（大野原諏訪地区）に隣接する河川敷内の樹木に営巣しているため秩父猟友会が銃器による駆除を行った。あらかじめ隣接する諏訪・中寺尾・下寺尾町会に回覧文書等でお知らせをし、漁協関係者、猟友会会員、市担当職員が立会い散弾銃で捕獲を行ったが、カワウに命中しなかった銃弾が流れ、諏訪町会内の住宅周辺にも落下した。大きな銃声と流れ弾について電話苦情が秩父警察署と市役所に寄せられ、予定より早く捕獲を終了した。地元町会長と住民を訪問して、人が人や物損など実害が無かった事を確認し、お詫びをした。

## オスプレイ飛行で市民の危険は

**問** 横田基地に日米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が配備される。沖繩に配備の米海兵隊のMV22オスプレイは、28年に名護市沿岸、29年にはオーストラリア沖で墜落している、MV22よりも事故率が高いのが横田基地配備の

CV22。横田に配備されれば基地周辺のみならず、関東一円で低空・夜間飛行が頻繁に行われる。秩父地域でも飛行すれば市民が墜落事故の危険に日常的にさらされる。寄居・皆野町で目撃情報があるが市ではどうか。また、埼玉県では防衛省と北関東防衛局に飛行と安全性や説明を求めている。米軍所沢通信基地へ強く抗議している。市も同様な姿勢をとって欲しいが考えは。

**答** 市も目撃情報があり、飛行に断固反対する。秩父圏域全体で防衛省に対し意見をあげていく。



名護市の沿岸に墜落したオスプレイ





# 一般質問

## 株父ジオグラビティ パーク構想



清流クラブ 江田 たくお  
えだ とおる  
徹

**問** 株父ジオグラビティパーク構想は、株父鉄道三峰口駅周辺エリアの地形を生かして、数々のアクティビティ施設（スカイウォーク、キャニオンスイング、ローラージップ、ジップライン、バンジージャンプ）を整備して、新たな観光拠点として期待される構想であるが、現在の進捗状況は。

**答** 現在、関連団体による協議会が立ち上がっており、広く意見をとり入れている段階である。今後目標である来春の開業に向けて着実に進めていきたい。

**問** 周辺地域の方々への説明及び配慮すべき点についてどう考えているか。

**答** 今回の事業実施にあたり、地域の町会長に、協議会委員に加わっていただき、意見や要望を伺っていききたい。また、多くのお客様が集まることにより、周辺地域の治安悪化への配慮、通学する子どもたちの安全においても配慮したい。

**問** 施設が周辺地域に及ぼす経済効果の見込みは。

**答** 具体的な金額は算定できないが、三峰口駅周辺の店舗での飲食

や土産物の購買、現地までの鉄道やバスの利用の他、広く捉えれば、市内での宿泊、株父地域内での観光につながるかと考えられる。積極的にPRと集客に努めていきたい。



白川橋から見た荒川

- ◎雇用の拡大
- ◎荒川上田野地内の産業廃棄物
- ◎各種申請書等の押印

## 市民によりそった市政を



日本共産党株父市議団 桜井 ひとし  
さくらい ひとし  
均

### ●災害対応

**問** 避難所の開設にあたり避難者への対応はどのようなものだったのか。また、防災倉庫の設置位置および備蓄品の管理方法はどうか。

**答** 避難者を受け入れた場合は避難者カードに記入してもらい、ケガや病気の方、要支援者の方がいる場合は危機管理課に報告することになっている。防災倉庫の位置については学校および教育委員会と調整する。備蓄品は年に1度は確認をしている。

### ●福祉女性会館の将来

**問** 地域の方、利用する方から「2年後に取り壊されてしまふ」という声が出ており心配しているが、福祉女性会館将来計画はどうなっているのか、また修繕などの考えがあるのか。

**答** ファシリテイマネジメントの観点から判断することになるので機能の移転先等も併せ、32年度に個別施設計画を策定したいと考えている。また、男子トイレの洋式化、雨水排水ドレンによる漏水の修理を30年度に改修する予定。



将来が心配されている福祉女性会館

- ◎危険ブロック塀の集計結果および学校、公共施設等の危険個所の確認
- ◎ブロック塀等への安全対策工事費助成の対応と通学路以外のブロック塀改修工事の助成は
- ◎住宅リフォーム制度の利用件数・交付金額
- ◎インフルエンザ予防接種の助成対象年齢の引き下げ



# 一般質問

## 防災（減災）政策

**問** 全国各地で自然災害が発生している昨今、市が想定する自然災害のポテンシャルは。

**答** 震災、風水害、雪害を中心に地域防災計画を策定しており、27年度の改定では、豪雪被害、土砂災害への対策を強化している。

**問** 県が指定を進めている土砂災害警戒区域とは何か。市の指定状況はどのくらいあるのか。

**答** 土砂災害防止法に基づき、県知事により指定された区域で、土石流229か所、急傾斜地861か所、地滑り22か所の合計1112か所が指定されている。

**問** 町会ごとに設置されている自主防災組織とは何か。自主防災組織に対する市としての支援策は。

**答** 「自分達の地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、町会等の単位で自主的に結成する組織で、80町会全てに組織されている。簡易備蓄倉庫や防災活動資機材、防災訓練実施等の補助の他、リーダー養成講座を実施している。

**問** 避難指示などの情報発信方法とそれらが全市民・世帯にどのくらい認知・普及しているのか。避

清流クラブ 黒澤 秀之  
くろさわ ひでゆき



難指示の手順は。避難した後の避難所運営はどのようなものか。

**答** 安心・安全メールの登録者数は、1万7918名。防災行政無線の戸別受信機貸与数は、4738台。避難指示は、危機管理課より避難に関する状況報告を受け、市長があらゆる手段を用いて市民に迅速に周知している。避難所運営は、一時的であれば、市と施設関係職員が協働して運営。これを超える場合は、自主防災組織と避難者が協働して運営する。



土砂災害警戒区域とは

◎ 防犯政策

他1件

## 公共施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保

公明党 大久保 進  
おおくほ すすむ



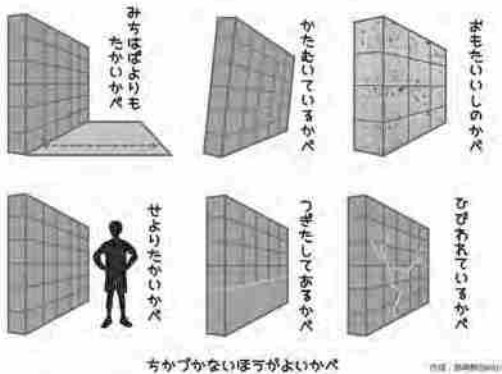
**問** 学校施設におけるブロック塀等の安全点検等の現状および今後の対策と学校以外の公共施設についての点検は済んでいるか。

**答** 学校施設におけるブロック塀等の安全点検の状況は、国土交通省の判定基準等に基づき職員による目視での調査の結果、安全性に問題があるブロック塀等は、小学校が13校中10校、中学校が8校中4校あった。通学路におけるブロック塀については、町会の調査結果を情報共有し、注意していく。学校施設以外の公共施設については、それぞれの部局で調査点検を実施した。その結果、ブロック塀を有する施設が27施設あり、そのうち危険が危惧されるブロック塀は、18施設あった。安全性に問題があるブロック塀等に対しては、安全指導および表示により注意喚起などの応急的な安全対策を実施しているが、今後、調査結果等を基に、計画的に改修していく。

## 認知症の人を対象とした損害賠償保険

**問** 公費負担の考えは。  
**答** 市では、認知高齢者が徘徊等

により行方不明となった場合、防災行政無線放送や、ちちぶ安心・安全メールの送信、また、GPSの位置情報を活用した徘徊高齢者等探索システムなどにより、徘徊高齢者の早期発見に取り組んでいる。認知症サポーター養成講座や認知症カフェの開催を通して、認知症に対する理解を深め、地域における見守り体制の充実に努め、地域ぐるみで事故等の未然防止を目指していく。公費の損害賠償責任保険導入については、現在事業化する計画はない。



危険なブロック塀の見分け方

# 一般質問

## 観光客の交通安全対策



清流クラブ 赤岩 秀文  
あかいわ ひでふみ

**問** 秩父市は都心から近い観光地として国内外を問わず多くの皆さんにお越しいただいている。西武秩父駅と御花畑駅間を往来するには市道幹線51号線を横断する必要があるが横断歩道が遠く車道や踏切内を歩行している。危険と考えるが、市の見解は。

**答** 駅連絡通路を利用した場合、秩父鉄道踏切の直近または踏切内を横断するため危険が指摘されていた。道路改築工事が完了すれば道路幅員が広がり歩道も確保できるので駅への導線が確保できるようになる。駅への誘導看板の付け替えも鉄道会社も含め関係各所と協議する。

**問** 観光客の増加にともない観光地付近の道路では歩道をはみ出し観光客が歩行をしている、そこへ地元車と思われる自動車が入り込んでをあまり緩めることなく走行する姿を見かける。また横断歩道上の歩行者妨害やあまり運転など、観光客にとって、優しい街とはいえない。おもてなしの心を持ち観光地としての自覚があるなら、市民のみなさんに交通安全の啓もう活動をするべきと考えるが見解は。

**答** このような危険な運転行為は、観光地である当市のイメージを損ねるだけではなく、人身事故を起こしかねない。あつてはならないものと認識している。当市にあつては、秩父警察署、小鹿野警察署交通安全母の会、秩父地域交通安全協会などの団体と協力し歩行者優先の啓もう活動をしている。また市職員に対しても交通マナーの徹底を指示している。



指摘されている踏切付近

◎公衆トイレの今後  
◎子どもの安心安全

## ゆきとどく市政



日本共産党秩父市議団 山中 進  
やまなか すずむ

### ●子どもの貧困対策

**問** 厚生労働省は「子供の貧困対策に関する大綱」①教育の支援②生活の支援③保護者に対する就労の支援④経済的支援など4つの支援を重視している。子どもの貧困を秩父からなくすために30年度予算における調査の進捗状況は。

**答** 0才から段階的に中学2年生までを対象とした子どもの生活に関する調査を行い、90%の回収率で集計・分析作業を進めている。

**問** 「子ども食堂」などの支援にフードバンク等が必要ではないか。

**答** すでに生協ちちぶが余った食品を回収し、フードバンク埼玉へ提供するというフードドライブという活動を、市と連携をはかり運営している。

**問** 今後の施策は。

**答** 30年度に秩父市子どもの貧困対策調査検討委員会を立ち上げた。調査結果などを踏まえ、具体的な施策について検討を進めていく。

### ●大滝地域の振興

**問** 栃本市有林は古くは明治時代に植栽が開始された人工林（スギ、ヒノキ、サワラ、カラマツ）で、

◎国保制度



市有林のある大滝栃本地区

**答** 9月中旬に報告と説明会を予定している。市民共通の貴重な財産を次世代に引き継ぐため「栃本市有林200年生の森づくり基本方針」を定めた。

最高林齢は100年生である。この栃本市有林は長年にわたり地元住民の方々が大切に育ててきた森林で市民の共有財産である森林を健全な状態で管理し、多様で持続可能な森づくりを行い、地域に貢献する保護価値の高い森林である。市民に丁寧に説明すべきだ。



# 訃報

富田 俊和議員 逝去



秩父市議会議員 富田俊和氏(71歳)が去る9月12日に逝去されました。

故富田俊和氏は、平成22年4月に秩父市議会議員に初当選以来、市議会議員を3期9年務め、その間まちづくり委員会委員長、建設委員会副委員長等を歴任し、地方自治の進展と秩父市政の発展に多大な貢献をされました。

ここに、故富田俊和氏の生前のご功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 委員会の委員の交代

富田俊和議員の逝去に伴い、9月18日付けで、富田俊和議員に代わり、議会改革特別委員に新井重一郎議員が、広報広聴委員に笠原宏平議員が就任しました。

五野上 茂次議員 逝去



秩父市議会議員 五野上茂次氏(67歳)が去る10月19日に逝去されました。

故五野上茂次氏は、平成22年4月に秩父市議会議員に初当選以来、市議会議員を3期9年務め、その間議会運営委員会委員長、総務委員会委員長、議会基本条例制定特別委員会委員長等を歴任し、地方自治の進展と秩父市政の発展に多大な貢献をされました。

ここに、故五野上茂次氏の生前のご功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



## インターネットで議会録画中継を見る！

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、いつでも好きなときに見ることがができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。



## 12月定例会の予定

日 程	議 事
11月27日(火)	開会、議案説明
30日(金)	議案に対する質疑
12月5日(水)	総務委員会
6日(木)	文教福祉委員会
7日(金)	まちづくり委員会
11日(火) 12日(水) 13日(木)	一般質問
19日(水)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。  
※議場は、本庁舎の4階です。  
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

## 編集後記

今年、北陸地方の豪雪に始まり、夏の西日本の豪雨、熊谷で日本最高気温を記録した連続する猛暑、そして大阪・北海道を襲った大地震と多くの災害に見舞われた年になりました。

秩父市議会においても、あろうことか9月に富田議員が、翌月には五野上議員が相次いで急逝された大きな衝撃と打撃を受けました。お二人の市や市民にかけた熱い思いをこれからは残された議員で背負っていかねばなりません。

同時期に亡くなられた女優の樹木希林さんは、生前「難が多い人生は、有り難い」と言われていたといえます。人は、度重なる困難の中から学び、成長することができるという、強くも見事な生き様を示されました。

平成30年10月 金崎 昌之記

## 編集委員

- 委員長 赤岩秀文
- 副委員長 金崎昌之
- 委員 江田徹
- 上林富夫
- 桜井重一郎
- 新井均
- 本橋貢